

留 学 報 告 書

記入日:2018年2月9日

所属学部／研究科・学科／専攻	法学部法律学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ネブラスカ大学オマハ校 現地言語: University of Nebraska, Omaha
留学期間	2017年8月～2017年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年1月10日
明治大学卒業予定年	2019年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input checked="" type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月中旬～12月中旬 2学期:1月上旬～5月上旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	4
創立年	1908

留学費用項目	現地通貨 (米\$)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	2756	30万円	
食費	1378	15万円	
図書費	138	1万5千円	
学用品費	919	1000円	
教養娯楽費	459	5万円	
被服費	0	0円	
医療費	0	0円	
保険費	1378	15万円	形態:明治大学5万、留学先大学10万
渡航旅費	2113	23万円	
雑費	459	5万円	
その他	1837	20万円	
その他		円	
その他		円	
合計	10528	1146000円	

渡航関連

渡航経路:ミネアポリス

渡航費用

チケットの種類	エコノミー
往路	11万5千円
復路	11万5千円
合計	23万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

STAトラベル

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

大学案内

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

リビング共有ですが、個人のスペースが確保されているので快適にストレスなく過ごせます

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか?大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

大学の相談窓口

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

外務省からの情報、特にありませんでした。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能だったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

Wi-Fi環境は日本よりかなり良かったです。契約せずにWi-Fiのみで5か月間乗り切った。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本でキャッシュパスポートの口座を作り、親に入金してもらいそこから引き出していた。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

味噌、日本のお菓子(高いから)

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路	
<input checked="" type="checkbox"/> 就職	<input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など	
授業を通じて	
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。	
航空業界、公務員	
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。	
自己分析、企業、業界研究、新聞。	
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。	
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。	
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
13単位	<input checked="" type="checkbox"/> 13単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
international studies	国際関係
科目設置学部・研究科	international studies
履修期間	4か月
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に140分が1回
担当教授	patric
授業内容	国際的な問題を様々な観点から解決方法を考える。
試験・課題など	2週間に一度の課題。最終試験はオンライン。
感想を自由記入	様々な観点から物事を考える力を養うことができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
intro to aviation		航空学	
科目設置学部・研究科	aviation		
履修期間	4 か月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Jon Hiles		
授業内容	航空に関する知識を幅広く		
試験・課題など	チャプターごとに小テスト、中間、期末あり。最終レポートもあり。		
感想を自由記入	一番苦労した科目であったが、日本では学べない、自分の興味を英語で勉強できたので非常に有意義な時間を過ごすことができた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Real Estate Principles and Practices		不動産	
科目設置学部・研究科	real estate		
履修期間	4 か月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 140 分が 1 回		
担当教授	David		
授業内容	不動産全般に関する知識を幅広く		
試験・課題など	5回のテスト、5回の課題		
感想を自由記入	実際に現場で働いておられるゲストスピーカーの講演を聞く機会があったことが自分の成長につながった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
swimming biginer/intermediate		水泳	
科目設置学部・研究科	phygical education		
履修期間	4 カ月		
単位数	1		
本学での単位認定状況	1 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	泳ぐ(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 2 回		
担当教授			
授業内容	泳ぎ方		
試験・課題など	中間テスト、期末テスト		
感想を自由記入	友達を作ることができた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
ESL 1	英語
科目設置学部・研究科	english
履修期間	4 カ月
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	James Vnuk
授業内容	アカデミックで使えるレポート、文章の書き方。母国語が英語でない人向け。
試験・課題など	期末試験。課題は 1 週間に 1 回
感想を自由記入	他の授業を受ける前に大切な事を学ぶことができた。



留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	TOEFL の勉強
4月～7月	TOEFL の勉強
8月～9月	留学系各種イベントに参加
10月～12月	選考
2017年 1月～3月	準備
4月～7月	出願
8月～9月	留学中
10月～12月	留学中 10 月中間試験、12 月期末試験
2018年 1月～3月	留学後 報告書等
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	<p>高校生の際に短期留学に言った経験から、大学では長期留学をしたいと考えるようになりました。法律相談部での経験から、不動産について学びたく留学を決心しました。不動産売買や賃貸借分野において法律的に悩む人の問題を解決した際、海外の不動産についての法律にも興味を持つようになりました。日本と海外とで土地登記の方法などが異なり、日本でなければ利益を得る者の結果も変わってくるからです。</p>
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	<p>やはり語学力です。私は何とかなるだろうという気持ちで留学に突入してしまったため、前半は英語を学ぶことに時間が浪費されてしまいました。その期間で、人間関係の構築や異文化交流、ネブラスカ大学オマハ校で世界中の人と接することができました。貴重な機会を、ただ英語力の向上のみに時間を使うことは非常にもったいないです。また、日本だけでなく、海外の文化にもアンテナを張っておくといいと思います。会話のきっかけを自分から作ることは、留学生活において重要です。留学生が多いこの学校では特に、「留学生で珍しいから」といった概念はなく、しゃべらない人には話かけてくれません。相手のカルチャーを学んでいれば、話題作りのきっかけになります。</p>
この留学先を選んだ理由	<p>教育理念に大変感銘を受けたためです。個人の多様性を重んじる私個人にとって、多国から留学生を受け入れかつ学生同士の交流を重視している部分が魅力的でした。また、学校内の先生のみでなく、実際にその職場や現場で働き活躍しているゲストスピーカーの講義機会が多く設けられていることも選んだ理由の一つです。ASEAN のメンバーにあった際には、アジアの現状について実践に基づいた現場でしかわからないようなお話をいくつも伺うことができました。また、インドネシアの大使館からいらした方からの講演も非常に魅力的で、アジアから客観的に見た日本の姿という視点で学びを得ることができました。</p>
大学・学生の雰囲気	<p>非常に寛容的です。旅行でフロリダ、ボストン、ニューヨーク、カンザスに行きましたが、ネブラスカの方が一番よく接してくれました。彼らは常に外国人と接している機会が多いため、相手を受け入れようとする姿勢が強く見られます。日本にいと、人と極端に異なる行為は嫌われる傾向が強いと思いますが、彼らはそのような概念はあまり持っていません。自分らしくいる、それを彼らは無意識で実現しようとしていて感じました。友達に「なんでそんなに友達が多いの？」と聞いたところ、「私は私らしくいるだけよ」という回答が返ってきたときは私にとって衝撃的な言葉で、心に深く染み込んだ実感を今でも鮮明に覚えています。</p>
寮の雰囲気	<p>アットホームな雰囲気でした。出かけようとする際には「どこ行くの？あなたの帰りを待ってるね」と言ってくれたり、ほっこりする気持ちになれました。また、朝には good morning、夜には good night と、あいさつはお互いに欠かしませんでした。私は寮でルームメイトや隣の部屋、下の階の人と過ごすことが多く、温かい雰囲気でした。また、寮では交流イベントのようなパーティーが開催され、ルームメイトと参加したり、友達の友達と仲良くなったりと、輪を広げる機会が多くありました。RA という寮担当の生徒が、寮に関する質問等すべて処理してくれました。</p>
交友関係	<p>私の場合は自分から明るく声をかけ友達を作ることはできたのですが、2、3回と遊んでいくうちに話す内容がなくなってしまい、薄い関係で終わってしまうことに悩んでいました。そこで、相手に興味をもち、パーソナリティーに触れるような話題を心がけたり、相手が話したい話題を引き出せるように話を聞くことも心がけました。また、恐れずに自分のこともひけらかすようなオープンな心で臨んだところ、いつの間にかかけがえのない友達に代わっていました。</p>

	毎日同じ時間を過ごし、お互いの悩みを共有し助け合える仲、「いつも一緒にいてくれてありがとう」とその人の存在に感謝できるようになりました。
困ったこと、大変だったこと	やはり授業についていくことが大変でした。理解していないのに出される課題やテスト、初めのテストの結果は本当に最悪でした。効率の良い勉強の方法さえも分からない状況で、予習と復習に追われる毎日で禿げるかと思いました。初めは授業内容をボイスレコーダーで録音して聞き直したり、教授にメールをして疑問点を解消したり、また勉強の方法自体を聞いたりしていました。しかし慣れてくると、友達と一緒に試験前に勉強するようになり、だんだんと試験に対する勉強の仕方コツをつかむことができました。
学習内容・勉強について	私は航空学、不動産、国際関係と、自分の興味ある分野を絞らずにすべて受講しました。航空学を英語で学べる機会というのは日本ではないと考え、なるべく日本語の概念を捨てて励みました。不動産と国際関係については日本で学んだ知識も参考にしつつ、「どう違うのか」という視点で制度の仕組みや言葉の定義を日本語と比較しながら学ぶように心がけました。違いを知る、今までになかったあたらしい角度から物事を捉える、という考えで学べるのは非常に面白かったです。
課題・試験について	課題の量は確実に日本よりも多かったです。そこで重要だと感じたのは、すべてを一人で解決しようとするのが必ずしも正しいとは限らない、ということです。私は今まで授業レポートや試験勉強をする際に、友達と行うことはほぼありませんでした。しかし「あなたはこれについてどう考えますか」という課題に対して、友達と同時にやることは新しい考えに触れる、という点で自身の成長にもつながります。「こういう考え方もあるのか」と発見の連続でした。試験については、丁寧に単語の意味や数字、概念、順序をひたすらに覚えていきました。また、教科書理解の際には、アメリカの教科書はとにかく分厚いので、ポイントとなる部分をしばって丁寧に勉強していきました。
大学外の活動について	フレンズオブジャパン、という大学内のチームに所属していました。そこには同じ大学の日本に興味を持つ外国人が所属しており、日本文化を伝えるイベント等に参加しました。一般の方が参加できるイベントでした。私は書道で来てくれた方のお名前をカタカナでかいてプレゼントしていました。また、日本文化についてのプレゼンテーションや、恋ダンスを踊ったりもしました。日本をPRできた達成感は忘れられません。
留学を志す人へ	留学をして後悔をする、ということは絶対にないと思います。金銭、時間、労力、多くの投資が必要になりますが、それをするだけの価値はあります。留学で何を得られるか、それは自分次第です。私はこの5か月間、人生の中で一番悩みました。だからこそ得られるものがありました。また、留学目的を明確にしてから行くことをお勧めします。私は留学で想像以上に壁に当たりました。その時に原点回帰できる留学の目的、それが自分の方向性を正してくれる瞬間が何度もありました。せっかく行くのであれば、一つでも多くのことを吸収するつもりで精一杯楽しんでください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	英語の授業	水泳の授業	英語の授業	水泳の授業	英語の授業	友達と遊ぶ	友達と遊ぶ
	自習	自習	自習	自習	日本語授業のボランティア	自習	自習
午後	航空学の授業	国際関係の授業	航空学の授業	自習			
				自習			
夕刻				不動産の授業			
夜							

